

## 第 11 回自然公園研究会 開催のご案内

テーマ：自然観光地にふさわしい利用を実現するための仕組みを考える

国立公園をはじめとする自然観光地をもっと多くの方に楽しんでもらおうという動きが加速しています。一方で、利用者数（観光客）の急激な増加や、マナーの伴わない利用によって、自然環境（生物多様性）にネガティブなインパクトが及ぶことも想定されます。また、自然の中での楽しみが半減というようなこともあるでしょう。資源の保全や、利用者の満足感を保つために、自然観光地にふさわしい利用を考え、実現していくことが必要です。今回の研究会では、利用者の入り込みを抑制、行動を誘導するための方策や、利用を規制する「ルール」の現状と課題について考えます。

日 時：2017年12月4日（月）13：30～17：30

会 場：公益財団法人日本交通公社 会議室

〒107-0062 東京都港区南青山 2-7-29 日本交通公社ビル

※東京メトロ「青山一丁目」から徒歩5分

プログラム：

13：30 開会

13：35～14：15 報告1：環境省が取り組んできた利用者コントロール  
～エコツーリズム推進法・法制の論点を中心に  
中島 慶二（江戸川大学社会学部 教授／国立公園研究所長）

14：15～14：55 報告2：国立公園にふさわしい利用を実現するためのプロセス  
～支笏湖・知床の対比から（仮）  
愛甲 哲也（北海道大学大学院農学研究院 准教授）

14：55～15：35 報告3：沖縄におけるローカルルールへの取り組み  
寺崎 竜雄（公益財団法人日本交通公社 理事／観光地域研究部長）

15：35～15：45 休憩

15：45～16：25 報告4：保全利用協定の仕組み、現状と課題  
古田 さゆり（沖縄県環境部自然保護課自然保護班 主事）

16：25～17：25 ディスカッション  
進行：阿部 宗広（一般財団法人自然公園財団 専務理事）

17：30 閉会

※プログラムは、諸事情により変更になる場合もございますので、予めご了承ください。

申し込み・お問い合わせ：

参加ご希望の方は、ご所属、お名前、ご連絡先（Eメール若しくは電話番号）を添えて、下記事務局宛てに11月28日（火曜）迄にお申し込みください。

公益財団法人日本交通公社 自然公園研究会事務局

メール：shizen@jtb.or.jp TEL：03-5770-8440/FAX：03-5770-8359

\* 個人情報につきましては、本研究会のご案内等、当財団が定める個人情報の利用目的の範囲内で利用させていただきます。当財団の個人情報の取扱いについての詳細はホームページ（<http://www.jtb.or.jp/>）をご覧ください。

(会場地図)

〒107-0062 東京都港区南青山二丁目7番29号 日本交通公社ビル

最寄駅：東京メトロ銀座線、半蔵門線、都営大江戸線「青山一丁目駅」5番出口から徒歩3分

